

是れ則ち α の形式のみ特に論理學の對象であつて、 β の形式は論理學の對象とならない、非論理的判斷の形式たる所以ではなからうか。 α の形式も普遍者を豫想しないのではないが、其の中には普遍者は唯だ時空的單一事象に限定せられてのみ存するから、之を一度び現實の時間及び空間より抽離せられた普遍者の形態に轉換しなければ、普遍的思考の形式其者とし、認識する事は出来ない。然るにかく時空的單一事象に限定せられた普遍者を、再び普遍者其者に轉換する事は、即ち α の形式の判斷を β の形式に變形する事である。故に α の形式の判斷は β の形式に變形せられて始めて論理學の取扱ふ處の論理的判斷となり得るのである。故に論理學者か α の形式の判斷を β の形式に變形するのは、決して此の二種の判斷が同一の意義を有するといふ理由に依るのではなくて、かく變形せらるゝ事に依つ

てのみ初めて其が普遍的思考の形式として認識されるからである。論理學は決して多様の判斷形式を勝手に一定の形式の中に擒縛して居るのではなくて、總ての判斷の思考形式が、此の判斷形式に於てのみ認識せられるからである。之を以つて吾人は、唯だ α の形式の判斷のみが唯一の形式論理學の對象なる事を知ると共に、形式論理學が決して無意味に α の判斷をのみ取扱つて居るのではなくて、思惟の形式の學として必然的に此の形式の判斷を取らなければならぬのであるといふ事を理解し得ると思ふ。

彙報

京都哲學會春期公開講演會

五月二十五日午後一時より、京都帝國大學法學部第一教室に於て開催左の如き講演あり。

兩眼視の研究に就きて 文學士 黒田 源 次君

意志の對象 文學博士 西田 幾多郎君

京都帝國大學講演會

來る八月一日より、同本學に於て第十回講演會を開く。科目及び講師左の如し。

民法大意	講 師	法學部教授	法學博士	藤道文
國勢調査	法學部教授	法學博士	財部靜治	
織維維ノ化學工業	(纖維、染料、染色)	工學部教授	工學博士	福島郁三
本邦普通岩石講義及貨物鑑識	工學部助教授	理學士	比企忠	
心理學實驗演習(機械設備ノ都合ニ依リ人員ヲ制限スルコトアルヘシ)	工學部助教授	理學士	野上俊夫	
古代印度ト希臘羅馬	文學部教授	文學博士	野上俊夫	
朝鮮史概説	文學部助教授	文學博士	榊亮三郎	
微分方程式及其應用(聽講者ハ解析幾何學初步及微積分學初步ノ知識ヲ要ス)	理學部助教授	理學士	西龍	
物質ノ光學的性質	理學部助教授	理學士	松本敏三	
有機砒素化合物	理學部教授	理學博士	木村正路	
	理學部助教授	理學士	松宮馨	

右ノ外左ノ科外講演アリ(聽講料ヲ要セス) 鏡山の話(幻燈使用)

飛行船に就て	工學部教授	工學博士	小田川達朗
膠質の話	理學部教授	理學博士	濱部源次郎
近世の繪畫に於ける自然(幻燈使用)	文學部助手	文學士	大幸勇吉
裁判の話	法學部教授	法學博士	植田壽藏
歐洲に於ける十字軍長征後の社會的動變	文學部講師	文學士	山田正三
かなのはなし	文學部助教授	文學博士	植村清之助
	文學部助教授	文學博士	吉澤義明

寄贈書籍雜誌

教育哲學概論	ジョン・デューイ著	帆足理一郎譯	洛陽堂
哲學雜誌、心理研究、東洋哲學、六合雜誌、無盡燈、早稻田文學文化運動、學校教育、教育、内外教育評論、國民教育、教育學術界、教育界、教育研究、中等教育、都市教育、信濃教育、近江教育、三重教育、愛知教育、宮城教育、佛書研究。			

前號目次

讀み方の難易に關する實驗に就いて	文學博士	野上俊夫
意志の内容(完結)	文學博士	西田幾多郎
無意識(承前)	文學士	千葉胤成
カントの歴史哲學(承前)	文學博士	米田庄太郎
ケーベル博士論文集	文學博士	深田康算
彙報—新著紹介		